



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社やまや 上場取引所 東
コード番号 9994 URL <https://www.yamaya.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 山内 英靖
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田原口 裕基 TEL 022-742-3114
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	123,792	5.5	5,237	113.9	5,332	108.8	3,036	70.6
2023年3月期第3四半期	117,308	5.4	2,448	51.5	2,553	△69.3	1,779	△57.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,674百万円 (227.5%) 2023年3月期第3四半期 1,121百万円 (△78.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	280.06	—
2023年3月期第3四半期	164.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	65,678	32,702	48.0
2023年3月期	59,275	29,592	48.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 31,521百万円 2023年3月期 28,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2024年3月期	—	26.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,000	3.4	5,700	100.9	5,800	96.3	3,300	71.0	304.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	10,847,870株	2023年3月期	10,847,870株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	6,352株	2023年3月期	6,242株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	10,841,543株	2023年3月期3Q	10,841,632株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[事業全般の概況]

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に変更され、経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向となった一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化の影響による海上運賃、原材料、エネルギー価格の高騰など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、豊かな生活をお客様にお届けすることを基本姿勢として、刻々と変化する社会環境と多様化するお客様ニーズに対応した商品・サービスの提供など、顧客満足度の向上を目指して取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における当社グループ連結業績は、売上高は1,237億92百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は52億37百万円(同113.9%増)となりました。経常利益は53億32百万円(同108.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億36百万円(同70.6%増)となりました。

経済活動の正常化に伴い、外食事業の業績が順調に回復しております。また、日米金利差による円安が続き、インバウンドが本格的に再スタートし、酒販事業、外食事業ともにその需要を積極的に取り込んだことや、商品調達コストの上昇に伴う価格改定が奏功し、売上高、利益ともに順調に推移しました。

当第3四半期連結会計期間末において、酒販事業353店(前年同期比3店増)、外食事業648店(同36店減)、グループ合計店舗数1,001店(同33店減)を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[酒販事業]

酒販事業における売上高は1,025億1百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は37億91百万円(同1.7%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間は、各地でイベントやお祭りが再開されるなど、人流の回復が進んだことにより、料飲店様の需要や祭り需要が回復しました。また、インバウンド需要においては東京や大阪など都心部に加え、地方における需要も加わり、売上高は堅調に推移しました。

当第3四半期連結会計期間は、ハロウィンやクリスマスなどのイベントも復活し、年末も帰省客が多かったことから、手土産需要やギフト需要が増加しました。また、御用納めや忘年会など会社行事も再開となり、関連商材の準備も必要となりました。自治体独自で実施されたキャッシュレス決済キャンペーンでは、一部の店舗でお客様の来店動機の増加に繋がりました。

新規出店として、三沢松園店(青森県)、馬見ヶ崎店(山形県)、小山城南店(栃木県)の3店を開店し、門戸厄神店(兵庫県)を閉店しました。

2023年12月末における酒販事業の店舗数は、353店舗(前年同期比3店増)となりました。

[外食事業]

外食事業における売上高は215億28百万円(前年同期比31.5%増)、営業利益は14億38百万円(前年同期は営業損失12億88百万円)となりました。

当第3四半期連結会計期間は、インバウンド及び国内旅行団体の集客も堅調に獲得できており、年末には宴会需要も復活して、売上高は順調に推移しました。連結子会社のチムニー株式会社では「39周年感謝祭」を企画し、感謝価格390円メニューなど、価値ある商品でご好評をいただきました。株式会社つぼ八では「50周年記念イベント大感謝祭」を開催し、贅を尽くした逸品や北海道名物をご提供し、ご好評をいただきました。外食事業の店舗開発としましては、コロナ禍において控えていた新規出店を再開し、当第3四半期連結累計期間において直営店3店舗、F C店3店舗を出店するとともに、お客様に居心地の良い空間を提供するため、店舗のブラッシュアップ(改装、業態転換、修繕等)をすすめてまいりました。

2023年12月末の外食事業直営店は、340店(前年同期比23店減)、飲食F C店は、308店(同13店減)となり、飲食店の総店舗数は、648店(同36店減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて64億3百万円(10.8%)増加し656億78百万円となりました。

流動資産は、売掛金が29億49百万円、現金及び預金が23億84百万円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて69億65百万円(19.1%)増加し434億47百万円となりました。

固定資産は、のれんが3億27百万円、差入保証金が1億47百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて5億62百万円(△2.5%)減少し222億31百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて32億93百万円(11.1%)増加し329億76百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が20億円減少した一方で、買掛金が44億35百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて34億60百万円(15.1%)増加し264億17百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が1億91百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて1億67百万円(△2.5%)減少し65億58百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて31億9百万円(10.5%)増加し327億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月10日に公表いたしました2024年3月期の業績予想を修正しております。詳細は、本日公表の「2024年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,745	14,130
売掛金	5,102	8,051
商品及び製品	17,780	19,225
仕掛品	67	62
原材料及び貯蔵品	38	35
前払費用	859	759
その他	1,131	1,397
貸倒引当金	△243	△214
流動資産合計	36,481	43,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,165	29,043
減価償却累計額	△24,159	△24,176
建物及び構築物(純額)	5,006	4,867
機械装置及び運搬具	2,039	1,870
減価償却累計額	△1,922	△1,776
機械装置及び運搬具(純額)	117	94
工具、器具及び備品	9,489	9,621
減価償却累計額	△8,702	△8,848
工具、器具及び備品(純額)	787	773
リース資産	1,693	1,642
減価償却累計額	△1,531	△1,498
リース資産(純額)	161	144
土地	4,618	4,618
建設仮勘定	14	17
有形固定資産合計	10,706	10,516
無形固定資産		
ソフトウェア	45	56
のれん	1,975	1,648
その他	24	24
無形固定資産合計	2,046	1,730
投資その他の資産		
投資有価証券	807	819
関係会社株式	852	949
破産更生債権等	318	319
長期前払費用	109	113
差入保証金	7,156	7,009
退職給付に係る資産	64	68
繰延税金資産	941	927
その他	107	89
貸倒引当金	△315	△312
投資その他の資産合計	10,041	9,985
固定資産合計	22,794	22,231
資産合計	59,275	65,678

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,304	14,739
短期借入金	7,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	155	237
リース債務	33	22
未払金	1,586	2,373
未払費用	813	1,003
未払法人税等	999	641
未払消費税等	511	587
預り金	243	490
賞与引当金	718	407
その他	590	914
流動負債合計	22,957	26,417
固定負債		
長期借入金	2,786	2,595
退職給付に係る負債	314	319
リース債務	147	132
役員退職慰労引当金	658	675
資産除去債務	1,551	1,531
繰延税金負債	22	0
その他	1,243	1,304
固定負債合計	6,725	6,558
負債合計	29,683	32,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,815	5,815
利益剰余金	19,569	22,041
自己株式	△8	△9
株主資本合計	28,623	31,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227	426
退職給付に係る調整累計額	△1	△0
その他の包括利益累計額合計	225	426
非支配株主持分	743	1,180
純資産合計	29,592	32,702
負債純資産合計	59,275	65,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	117,308	123,792
売上原価	86,313	88,426
売上総利益	30,994	35,366
販売費及び一般管理費	28,546	30,128
営業利益	2,448	5,237
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	18	20
受取手数料	40	53
持分法による投資利益	24	27
雇用調整助成金	46	—
新型コロナウイルス拡大防止協力金	21	—
その他	78	88
営業外収益合計	235	194
営業外費用		
支払利息	82	56
店舗改装費用	20	20
店舗閉鎖損失	2	—
その他	25	21
営業外費用合計	130	99
経常利益	2,553	5,332
特別利益		
固定資産売却益	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除却損	—	2
減損損失	195	496
投資有価証券評価損	—	234
契約解約損	25	—
その他	14	67
特別損失合計	234	800
税金等調整前四半期純利益	2,320	4,532
法人税、住民税及び事業税	1,093	1,186
法人税等調整額	129	△80
法人税等合計	1,223	1,105
四半期純利益	1,097	3,426
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△681	390
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,779	3,036

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,097	3,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	244
退職給付に係る調整額	0	2
その他の包括利益合計	23	247
四半期包括利益	1,121	3,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,825	3,236
非支配株主に係る四半期包括利益	△704	437

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	100,937	16,371	117,308	—	117,308
セグメント間の内部売上高又は振替高	192	—	192	△192	—
計	101,129	16,371	117,501	△192	117,308
セグメント利益又は損失 (△)	3,729	△1,288	2,440	7	2,448

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において72百万円、「外食事業」において122百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	102,264	21,528	123,792	—	123,792
セグメント間の内部売上高又は振替高	236	—	236	△236	—
計	102,501	21,528	124,029	△236	123,792
セグメント利益	3,791	1,438	5,229	7	5,237

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において72百万円、「外食事業」において424百万円であります。